

大分市歴史的風致維持向上計画 概要版

計画期間
令和元年度(2019)～令和10年度(2028)

1. 大分市の維持向上すべき歴史的風致

大分市は、九州の東端に位置し、速吸の瀬戸に代表される幸豊かな海と周辺部に連なる緑濃い山々に囲まれ、温暖な気候に恵まれたまちである。古代には、豊後国府がおかれて政治的な中心地になるとともに、由原八幡宮（明治以降は杵原八幡宮と表記）をはじめ多くの社寺が創建され、中世には大友氏のもとでその本拠地「府内」が都市としての発展を遂げ、「大友氏館跡」など多くの遺跡や文化財が今に遺されている。一方近世には、府内藩など5つの藩領と幕府領に分かれ、領域ごとに異なった歴史を積み重ねた結果、各地に特色ある伝統文化が育まれることとなった。このような歴史を反映して、大分市には多くの歴史的建造物や地域性豊かな伝統文化に根ざす人々の活動が今も残っており、これらが一体となって大分市の歴史的風致を形成している。



大分市における歴史的風致の分布図

1. 杵原八幡宮の祭礼にみる歴史的風致（重点区域）

杵原八幡宮は、大分市西部の緑豊かな自然に恵まれた八幡地区にあり、豊前国の宇佐神宮より分霊されたことが社の始まりといわれる。古くから「豊後国一宮」として信仰を集め、特に豊後国司や豊後国守護の大友氏、府内藩主たちによって手厚く保護されていた。杵原八幡宮の祭礼は、八幡地区の人々が参加して受け継がれており、それが行われる道や建物が一体となって、歴史的風致を形成している。



祭礼 浜の市の様子

2. 新旧府内と祭礼にみる歴史的風致（重点区域）

中世に大友館を中心として築かれ、戦国時代には国際貿易都市に発展した町「府内」は、江戸時代初めに府内城下に移され、現在の中心市街地の原型となった。



夏季祭礼の様子

多くの祭礼は、夏季に行われており、6月後半から7月末までの1ヶ月間は、まちなみのあちこちで鉦や太鼓の音が聞こえ、祭礼を知らせる幟が見られる。こうした祭礼を中心に当地区の歴史的風致を形成している。

3. 萩原のまちと祭礼にみる歴史的風致

萩原地区は岡藩の港町として整備され、府内藩の所領となってから製塩業によって町が栄えた。江戸時代には人形を町に飾る行事があり、人形山車として引き継がれている。このような歴史的な背景とまちなみを人形山車が巡行する祭りが幅広い世代により維持され、まちなみと祭礼行事が密接に結びついた歴史的風致を形成している。



山車巡行中の様子

4. 三佐の人形山車にみる歴史的風致

三佐地区は、江戸時代の参勤交代の際、岡藩主の休憩所であった「御茶屋」や港、まちが整備され、「御座船」のほか、商品や伊勢参拜の人々を乗せた船も出入りするなど賑わいを見せていた。当地区では、岡藩主により始められたとされる豪華絢爛な山車巡行が三佐大工の技で守り続けられ、祭礼と共に歴史的風致を形成している。



山車の巡行

5. 鶴崎のまちと祭礼にみる歴史的風致

鶴崎地区は、江戸時代に熊本藩領であり、参勤交代の際には藩主休憩所としてまた豊後の熊本藩領を統治する拠点として「御茶屋」が設けられ、その周辺に港や町が整備された。



剣八幡神社 春季祭礼の様子

熊本藩とのつながりに起源をもつ建造物とそれに関わる祭礼が今も受け継がれており、まちなみと一体となった歴史的風致を形成している。

6. 本神崎の祭礼にみる歴史的風致

本神崎地区では、神輿や山車を用いた伝統的な春季祭礼がまち全体を舞台として行われている。また、昭和初期に発見された「石棺」を祀るために始められた祭りも既に伝統行事となり定着している。その舞台となる八幡神社と築山古墳を起点とする2つの祭りが当地区の人々によって受け継がれながら歴史的風致を形成している。



八幡神社 春季祭礼の様子

7. 佐賀関のまちと早吸日女神社の祭礼にみる歴史的風致

佐賀関地区は、古代から続く港町である。早吸日女神社の祭礼は、佐賀関に住む人々が広く参加して行われる祭りで、神輿や山車の巡行は、まちなみの広範囲におよぶ。祭礼は、海との繋がりを基本としながらも当地区がもつ伝統をすべて含んでいる。このように、早吸日女神社と祭礼により良好な歴史的風致を形成している。



早吸日女神社本殿

8. 戸次本町のまちなみと祭礼にみる歴史的風致

戸次地区は、大分市内でも最も良好な歴史的なまちなみが残っており、江戸時代の在町としての歴史と伝統を受け継いでいる。このまちなみを守り、次世代へつなげていこうとする地元住民の熱意のもとで、伝統的な祭礼が守り伝えられており、まちなみと一体となった歴史的風致が形成されている。



戸次本町のまちなみ

9. 野津原の祭礼にみる歴史的風致

野津原は慶長6年（1601）に熊本城主 加藤清正が領有することになり、佐賀関から熊本に至る街道上の宿場町として整備された。まちなみの起源となる宿場町を整備した加藤清正への敬意の念を背景とし、住民全体が関わって行われる祭礼とまちなみと一体となった歴史的風致を形成している。



山車の巡行

2. 大分市の重点区域における事業概要

重点区域の名称: 柞原八幡宮・新旧府内周辺地区
重点区域面積: 約1222ha

重点区域は、柞原八幡宮や大友氏遺跡をはじめとする歴史的建造物などが多く分布し、これらと密接につながる祭礼や人々の活動が維持されている八幡地区から大分市中心市街地周辺地区にかけての区域とする。重点地区においては、観光振興や地域の活性化、にぎわいの創出を図るため、重点的かつ一体的な施策を推進する。これにより、重点区域に関わる歴史的風致の維持および向上を効果的に推進し、市全域に効果を波及させることで、本市の歴史的風致の維持向上を目指す。

1. 大分城址公園整備・活用事業



大分城址公園の現在の様子

2. 大友氏遺跡歴史公園整備事業



大友氏館跡庭園整備イメージ CG

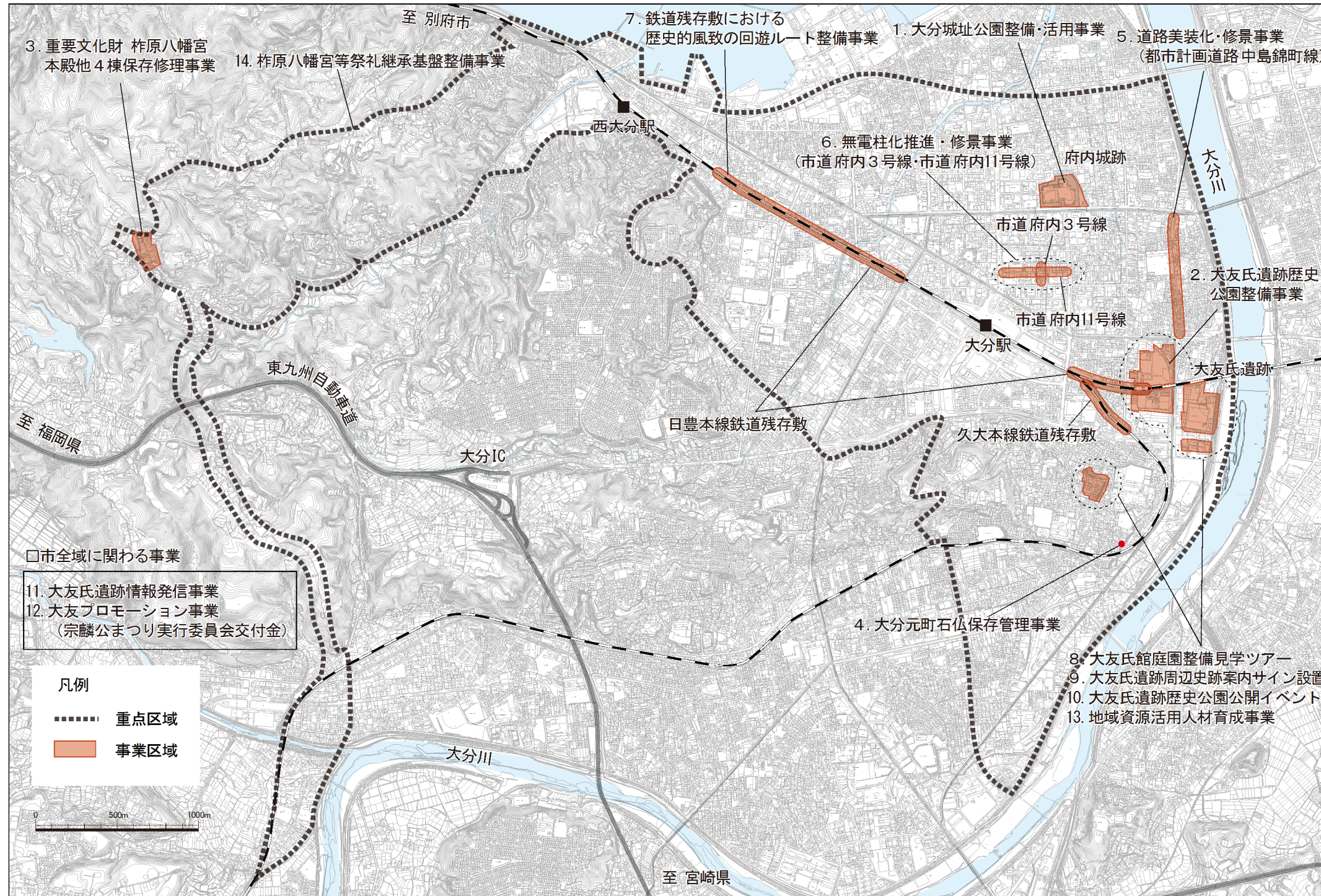
3. 重要文化財柞原八幡宮本殿他4棟保存修理事業



柞原八幡宮本殿



柞原八幡宮申殿



4. 大分元町石仏保存管理事業



元町石仏

12. 大友プロモーション事業 (宗麟公まつり実行委員会交付金)



宗麟公まつりの様子

13. 地域資源活用人材育成事業



歴史について説明する市民ガイド

※ 7. 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業は日豊本線西側鉄道残存敷、久大本線鉄道残存敷の2箇所が対象

(1) 歴史的建造物等の保存・活用に関する事業

1. 大分城址公園整備・活用事業
2. 大友氏遺跡歴史公園整備事業
3. 重要文化財 柞原八幡宮本殿他4棟保存修理事業
4. 大分元町石仏保存管理事業

(2) 歴史的風致周辺の環境整備に関する事業

5. 道路美化・修景事業 (都市計画道路中島錦町線)
6. 無電柱化推進・修景事業 (市道府内3号線、市道府内11号線)
7. 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業

(3) 歴史的風致の情報発信と認識向上に関する事業

8. 大友氏館庭園整備見学ツアー
9. 大友氏遺跡周辺史跡案内サイン設置
10. 大友氏遺跡歴史公園公開イベント
11. 大友氏遺跡情報発信事業
12. 大友プロモーション事業 (宗麟公まつり実行委員会交付金)

(4) 伝統行事や伝統文化の継承に関する事業

13. 地域資源活用人材育成事業
14. 柞原八幡宮等祭礼継承基盤整備事業